

第42回横浜ケーブルビジョン放送番組審議会

開催日時 2022年11月17日(木) 10:00～11:40

開催場所 YCV 本社会議室 ※オンライン併用

番組審議委員 全7名：出席6名／欠席1名

渡邊 敏生会長

太田 由紀枝委員 小磯 守委員 篠崎 顕一委員

瀬沼 幹太委員 渡邊 晶委員 河内 宗次郎委員(欠席)

横浜ケーブルビジョン株式会社

代表取締役社長

京 克樹

取締役副社長兼コンテンツ部長

世古 仁志

コンテンツ部マネージャー

栗田 浩輔

コンテンツ部マネージャー

田光 あずみ(事務局)

審議事項

- (1) 編成での取り組みについて
- (2) 自主制作番組について

報告事項

- ・ 放送番組基準についての改定について
- ・ 視聴者からの苦情、意見について
- ・ 訂正放送について
- ・ 監督・関係省庁等公的機関からの注意・指導について

【委員の皆様からのご意見】

番組へのご意見のほか、YCV での取り組みやサービス関連など多くのご意見をいただいた

- 「イオンスタイル天王町」のカウントダウン企画を Instagram で追って見ていた。
- Instagram でテレミンと商店街の方々や商品との写真などが非常に見やすくよかった。
いいねや閲覧数が少ないので、これからどのように広めていけばよいのか。
一緒に広めて行けたらと思っている。
- 多くの方がチェックするツールである Instagram や LINE を活用した情報発信をしていけたらよい。
- 卒園おめでとうについては、引き続き子ども達との懸け橋になっていただきたい。
- 「子ども 110 番パトロール」の取り組みが興味深い。
人通りの少ない道や夜間（塾へ通う時間など）、狭い道も通っていただけたらと思う。

- 自身の畑にて小学 2 年生を対象に「大根の種まきから観察し、収穫まで行う」という 1 年を通じた授業に協力している。コロナ影響で実施できてなかったが、今年は 1 クラスずつ行っており、今年で 7 回目を迎える。来年はぜひ番組で取材をしてほしい。
- YCV で交通安全教室を取材・放送をしていただいている。
今後も園児や高齢者向けの交通安全教室への取材を増やしていただき、交通安全・交通事故撲滅につなげていってほしい。
- 最近、行事が盛んになってきており、自身が行っている獅子舞のお囃子をイベント等で披露する機会が増えている。ぜひそちらも取材に来て欲しい。
- 集合住宅では、インターネットサービス導入をしておかないと新入居の方が入ってきづらい状況がある。YCV のテレビサービスが導入されている集合住宅に対して、インターネットサービスの導入を提案し、入居者にとっていいサービスが提供できるようになるとよい。

- 「身近なテレビ」というキーワードが印象に残り、きめ細かい取材・放送をしていることをひしひしと感じた。
- 地域情報番組のコーナー「じもトレ」を「じもとみせ」に名称変更したことは非常に良いと思った。
「トレ」は「トレーニング」として使われることが多いので分かりやすくなった。
- 「こども 110 番パトロール車」の取り組みは非常によいと思う。
今後の課題は「子どもがこの車を見たら声を掛けていいんだよ」ということをどのように伝えていくかということ。車は走っているので、どのタイミングで声を掛ければよいのかなど、番組にして紹介していただくとうい。また、声を掛けた後、警察や学校に行く等のフローや解決策を示すのがよい。
1 年後等に検証をし、いつどこで子どもがどのように声を掛け、どう対応して事件や事故を防ぐことができたかなど検証結果が積み重なると、他の CATV 局の参考にもなると思う。
- 今日はココからで、1 人で中継を行う取り組みは、視聴者としては臨場感があってよいが、ディレクターに負担がかかりすぎないか、労働環境的にどうなのかと心配になった。
- 組織図を見ると幹部の皆さんは全員男性であった。現在では、役員は 50% 女性にといわれているので、女性の幹部も入っていただく方がよい。対照的に、こども 110 番パトロールでは、女性アイドルの方が大使に任命されており、とても違いがあると感じた。

- 学校関連番組が非常に大切だと思っている。以前は小学校が中心であったが、中学校も取り上げている。1度取材した学校の続報を放送してもらえるのがよい。
- 学校調査隊の取材に同行した際、取材の大変さを感じた。
- 学校調査隊での取材が難しい場合は、「テレミン体操」に出演する等の対応ができるのがよい。
- 紙芝居の番組を見て、学校から授業の依頼があった。学校教育に役立ててもらうことができ嬉しく思っている。
- 保土ヶ谷にも「和田義盛」のゆかりの地があるので、旬の時期に取り上げてもらいたい。
- 撮影や放送だけでなく、DVDに纏めるなどの提案や営業活動が必要だと思う。
(例：農業体験の種まきから収穫まで等)

- 「じもっとファーム」企画は、企画に寄せるのではなく、キャスターの持ち味を生かして魅力を引き出してよかった。
- 普段近くにいても知らない場所があり、それを知ることができることがよい。
放送されたお店にも行ってみたい。
- 学校調査隊など、子ども達にスポットを当ててもらえることがうれしい。積極的にPTAに入っていく父親はごく一部なので、子ども達の様子を見られることは嬉しいことだと思う。
子どもがいい顔をしているときは、周りには素敵な大人がいる。学校や地域の人も一緒に紹介してもらえると更に番組が輝いていくと思う。
- 「卒園おめでとう」はすごく素敵な番組。できれば「入園おめでとう」として、乳幼児と親の様子を撮影し、子どもと親の成長を卒園まで見られるとよい。
- 今、若者はInstagramが主流になっている。今後はInstagramのフォロワー数を増やせる企画等を検討したらよいと思う。

- 「こども110番パトロール車」は非常によい取り組み。
利用方法を深掘りして、子ども達が利用しやすい方法を検討いただきたい。
- 「じもとみせ」の企画もよい。
コロナ禍で飲食店が苦勞しているので、数多くの地元のお店を紹介していただきたい。
お店への行き方、地図、目印などを工夫してもらい、親切な案内ができるとよい。

- 「かながわらく楽ウォーキング」の旭区畠山重忠の名所めぐり、「イオン天王町ショッピングセンター」のグランドオープン、「世界に届け！みんなのスピーチコンテスト」、「旭ふれあい区民まつり」等々、見させていただいた。番組を拝見し、歴史から現代の出来事、未来あふれる子どもたちの明るい番組で、とてもよかったと思いました。これからも、多くの人たちが見て感動する番組を制作して行ってほしい。

【京社長／横浜ケーブルビジョンの業績・活動内容について】

<新サービスの導入>

- ・2022年1月 ケーブルテレビの回線を使用した下り1 Gbps サービス開始
- ・2022年2月 YCV サービスとスマホをセットにすると、データ容量を大幅増加
- ・2022年10月 ディズニープラスとケーブルテレビがセットで見られるサービスを開始
- ・2022年10月 次世代 AI Wi-Fi サービス開始

<地域との取り組み>

- ・各警察との安心安全協定の締結（9/29 保土ヶ谷警察、9/30 泉警察署、11/9 旭警察署と締結）
 - └ 警察署とYCVの連携と協働により「安全で安心して暮らせる地域社会」の実現に努めることを目的とし、特殊詐欺をはじめとする各種犯罪の被害防止や交通事故防止に関する広報活動について、啓発番組の放送を通じて協力するほか、地域の見守り防犯活動等を通して、安全・安心なまちづくりを支援する
- ・子ども110番の車認定、出発式実施
 - └ 子どもや女性、高齢者等、地域住民が「誘拐や声かけ、ひったくり、ストーカー」等、何らかの犯罪被害に遭いまたは、遭いそうになって助けを求めてきた場合等に、その様な人たちを、保護するとともに、警察・学校・家族 等へ連絡する措置を行うボランティア活動
- ・テレミン商店街防犯防災パレード開催（11/6）
 - └ YCVにてネーミングライツ契約をしている「YCV テレミン商店街（天王町商店街）」にて、警察・消防と連携し、秋の交通安全・防犯・防災啓発を目的とし、横浜市消防音楽隊を招きながらパレードを行ったイベント。併せて、イオンスタイル天王町店とも連携し、商店街から商業施設までを融合した、地域活性化に向けた取り組み

【世古副社長挨拶】

SNSを活用してのPR活動については、もっと実施していかなければならない。

また、「子ども110番パトロール車」や地域の安全安心の協定締結等、具体的にどう動いていくのかを地域の皆さまにしっかりと見えるようにPRしていかなければならないと痛感した。

学校関係の取材・放送に評価をいただき、ありがとうございます。子ども達は地域の宝であるので、今後も大切に視聴の皆様へ視線を寄せて放送していきたい。

引き続き、貴重なご意見をいただきながら番組作りをして参りたい。